

清水・エムケーJVに

福岡地区 事業協力者の選定

つくばみらい市

つくばみらい市の福岡地区土地区画整理組合設立準備会(中島潤和会長)はこのほど、福岡地区土地区画整理事業(仮称)の事業協力者に清水建設・エムケーJVを選定し

た。今後は組合設立の業務支援などを委託し、29年度内の組合設立を目指す考えだ。

この事業は、福岡地区(つくばみらい市福岡、南、坂野新田、台の各一部)に工業用地約32haを整備するもの。隣接する既存の工業用地域約120haには約70社が立地し、ほとんど空きがない状況にある。また、同市は東京都心から40km圏内に位置しており、交通便利性が高く工業用地の需要拡大が見込まれている状況にあるため、市は企業誘致の新たな受け皿づくりとして、新たに工業用地を整備していく。

昨年4月には地権者にによる福岡地区土地区画整理組合設立準備会が発足。組織は施行予定地区内の地権者で構成され、会員数は3月時点で123人とおり、地権者約9

割の賛同を得ている状況にある。会長を中島潤和氏、副会長を片貝善男氏と大藤芳夫氏が務め、事務局は市長公室みらいまちづくり課に設置。現在は、つくばみらい市福岡地区土地区画整理組合(仮称)の設立に向けて準備をすすめている。

事業手法は、組合施行による土地区画整理事業(業務代行方式)を採用。手法の特徴として、民間事業者のノウハウを最大限に活用することで、円滑で迅速な事業の推進を図り、地権者や市のリスクを大幅に軽減できることが挙げられる。

昨年12月から事業協力者の募集を開始し、このほど事業協力者に清水建設・エムケーJVを選定

した。これを高付、3月13日には臨時会を開催

し、同JVを事業協力者とする案を可決している。今後は5月頃までに覚書を締結する予定となっている。

備蓄金として、雨水排水検討業務委託料587万円や事業化推進(組合設立準備会支援)業務委託料897万円、権利調査補正業務委託料207万円などを盛り込んだ。今後の事業スケジュールは、28年度に市街化区域編入や地区計画などの都市計画変更手続きを行う。29年度には都市計画の決定や組合設立などの事業認可取得を実施。その後、用地買収や工事に着手したい考えだ。なお事業完了は31年度末を計画する。